

器質性便秘とは

何らかの病気や疾患により起こる便秘の事を器質性便秘と言います。腸閉塞を起こして腸が詰まったり、腸がねじれたりした場合などに起こります。

また、大腸ガン、大腸ポリープ、腸狭窄、腸管癒着、大腸憩室等、大腸の疾患が原因で便秘になることもあります。その他、大腸の疾患以外にも、痔、婦人科領域の子宮筋腫や卵巣嚢腫なども腸を圧迫することから、便秘の原因となります。

《器質性便秘を引き起こす疾患》

●大腸ガン・大腸ポリープ

ガンやポリープによって便の通過が妨げられ便秘が起きる。便に血液や粘液が付いたり、便の形がいびつになっているときは要注意。



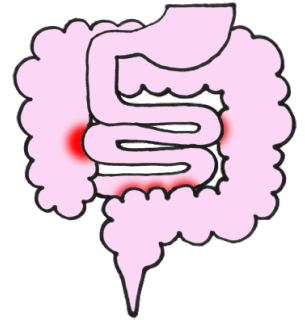
●腸管癒着

腸や腹膜が炎症を起こして、腸管が癒着してしまうために起こる便秘です。

腸管の癒着は、子宮筋腫などの婦人科系の病気だけでなく、胃・十二指腸潰瘍、大腸疾患などの開腹手術により、腸管と腸壁、あるいは腸管と他の臓器によっても起こります。

腸管癒着はある程度避けられないと考えられており、手術後まもなく、あるいは10年後に起こる人もあり、その時期は人それぞれです。

腸管癒着があると、その箇所を中心に腸管が曲がったり、ねじれたりして、便やガスの通過が正常に行われず、便秘の原因となります。



●痔による便秘

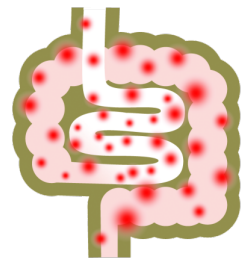
痔には、いぼ痔、切れ痔、痔ろうなどがあり、いずれも激しい痛みを伴い、排便をがまんして便秘になることがあります。すると、便が硬くなり、排便の際、常に強いきむようになり、肛門近くの静脈がうっ血したり、肛門の粘膜が切れて出血し、痔を引き起こします。



●クローン病による便秘

クローン病とは大腸や小腸に、原因不明の潰瘍が多数できる病気です。

瘍によって腸管が狭くなるために便秘が起こり、腹痛、腹部膨満感をもたらす、血便や粘液便が見られることもあります。



●婦人病による便秘

子宮筋腫や卵巣嚢腫などが大きくなると、腸を圧迫して便秘をもたらすことがあります。

また、子宮内膜症により、出血を繰り返していくうちに腸が癒着を起し、便秘を引き起こすことがあります

